

中期経営計画における経営目標・経営指標の進捗状況

法人名等		目標の内容・実績				
【法人名】 公益財団法人 埼玉県芸術文化振興財団	目標	収支比率 毎年度50%以上 [算出方法] 事業にかかる経常費用に占める事業に係る経常収益の割合	有料公演チケット販売率 毎年度80%以上 [算出方法] 販売設定した席数に占める販売席数の割合	公演満足度 毎年度90%以上 [算出方法] 公演の鑑賞者に行ったアンケート結果において、回答数に占める、大変満足及びやや満足と回答した数の割合	施設利用率 ○埼玉会館 毎年度75%以上 ○彩の国さいたま芸術劇場 毎年度85%以上 [算出方法] 利用可能日数に占める利用日数の割合	施設利用満足度 ○埼玉会館 毎年度90%以上 ○彩の国さいたま芸術劇場 毎年度90%以上 [算出方法] 施設利用者に対して行ったアンケート結果において、回答数に占める、大変満足及びやや満足と回答した数の割合
	各年度の実績	【令和2年度実績】 23.4% 【令和3年度実績】 76.9%	【令和2年度実績】 72.1% 【令和3年度実績】 82.5%	【令和2年度実績】 98.0% 【令和3年度実績】 97.5%	【令和2年度実績】 埼玉会館 57.0% 彩の国さいたま芸術劇場 63.2% 【令和3年度実績】 埼玉会館 64.5% 彩の国さいたま芸術劇場 82.0%	【令和2年度実績】 埼玉会館 95.1% 彩の国さいたま芸術劇場 96.2% 【令和3年度実績】 埼玉会館 99.5% 彩の国さいたま芸術劇場 97.4%
	法人による自己評価	令和3年度は、舞台芸術作品の提供等に関する事業として、彩の国シェイクスピア・シリーズ第37弾「終わりよければすべてよし」など、57事業151公演を実施した。 収支比率については、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、海外招聘公演など5事業11公演が中止となったが、目標値を達成することができた。 引き続き、経費削減と限られた予算で効果を出す工夫を施し、高い芸術性と収支比率のバランスを図っていく。	公演中止など新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受けたが、彩の国シェイクスピア・シリーズ第37弾「終わりよければすべてよし」の販売率が95.3%と高い数値だったことをはじめ、多くの公演で高い販売率となり、目標を達成することができた。 引き続き、営業や広報活動の充実等によりチケット販売を手掛けていく。	当財団は、彩の国さいたま芸術劇場では「創造する劇場」の理念のもと、世界トップレベルの芸術作品を創造、発信、提供し、埼玉会館では、質の高い音楽作品を中心に事業を実施している。 令和3年度の実施公演においては、目標を達成するとともに、高い数値を維持することができた。 今後も、多彩で質の高い芸術作品の提供に努めていく。	昨年度と比較すると、施設利用率は大きく改善したが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、目標値を下回った。 各施設(ホール、稽古場、練習室、会議室、展示室等)の、抽選で外れた利用希望者への代替日の斡旋やキャンセル情報の提供、フェイスブック、インスタグラムなどSNSを活用した情報発信を展開し利用促進を図っていく。	埼玉会館及び彩の国さいたま芸術劇場では、施設利用者のアンケート結果等も踏まえ、サービスの向上に努め、いずれの施設ともに目標値を達成することができた。 引き続き、利用者サービスの向上に取り組んでまいりたい。 【令和3年度の利用者サービスの向上事例】 埼玉会館・・・地域情報サイトに掲載を開始し広報活動の充実を図った。 芸術劇場・・・大ホール等の抗菌コーティングの実施や、紫外線空気除菌システム等の導入。オープンシアターの開催やストリートピアノの設置等。
【中期経営計画の期間】 令和2年度～令和6年度						